

## 岡山県信用金庫協会との連携研修

岡山県信用金庫協会と連携し、同協会が県内信用金庫職員向けに実施している合同研修において、初めて講師として出席し講義を行った。

### 概要

岡山財務事務所から岡山県信用金庫協会に対する提案により、同協会が、県内の8つの信用金庫の職員向けに、階層別・職種別に実施している合同研修において、初めて当所職員が講師として出席し、講義を行った。

#### ○講義の内容

・平成29年8月、若手渉外担当者向けに開催された講座において、当所の貫名理財課長が、「金融機関における近年の不祥事件の発生状況」と題し、金融機関を監督する立場から、コンプライアンスの重要性や金融業界全体の課題について講義。



若手渉外担当者向け講義

・30年2月、部店長・次長向けに開催された講座において、当所の橋本所長が、「日本の財政を考える」と題し、日本の財政状況について講義。また、貫名理財課長が、「地域金融機関と金融監督行政」と題し、地域金融機関に求められているものや金融当局・金融行政運営の改革について講義。



部店長・次長向け講義

### 取組の成果と今後の展開

○平成29年8月の講義を通じて、県内信用金庫の若手渉外職員に対して、不祥事件を起こさない・防ぐためのポイントに加え、金融機関に求められている「顧客本位の業務運営」、「顧客との共通価値の創造を目指したビジネスモデルの転換」などについて知ってもらう機会となった。

○30年2月の講義を通じて、県内信用金庫の部店長や次長に対して、日本の財政や社会保障の現状及び課題について認識してもらう機会となった。

また、金融機関に求められている「ビジネスモデルの構築」や「顧客本位の良質な金融サービスの実践」、金融庁が進める「検査・監督のあり方の見直し」について理解してもらう機会となった。

○当該取組を契機として、同協会と連携した取組を行うための関係性を構築することができた。

今後も同協会と連携した講義を継続するほか、当所と合同での勉強会を開催するなど、地域金融機関との連携を図りたい。